

退院後訪問指導を経験した病棟看護師の 気づきと退院支援に及ぼす影響

湖東厚生病院

西病棟

○安達悦子

半田明日香

はじめに

- A病院：B地域に位置し、地域医療を展開
入院患者の8割が80～90歳代
- 基本方針：「介護や福祉と連携しながら積極的に
在宅医療を推進します」
- 退院後訪問指導…5年経過（20～40件/年）

目的

病棟看護師が、退院後訪問指導で得た気づきと、その気づきをどのように退院支援に活かしているのかを明らかにする。

研究方法

1. 研究デザイン： 質的記述式研究
2. 研究対象： 退院後訪問指導を経験した
病棟看護師38名
3. 研究期間： 令和5年1～2月
4. データ収集方法： 質問紙での調査
 - 1) 退院後訪問指導の経験回数
 - 2) 退院後訪問指導時の気づき
 - 3) 退院支援にどのように活かしているか

分析方法

1. 質問ごとの単純集計
2. 記載内容を類似内容ごとに要約
3. カテゴリー分類
4. 語録分析

倫理的配慮

研究目的、自由意志の尊重、個人を特定されることはないこと、回答を断っても不利益が生じないことを文書で明記し、質問紙の回答をもって同意とした。A病院の倫理委員会の承認を得た上で実施した。

結果 1

質問1) 退院後訪問指導の経験回数

1～5回 31名 6～10回 6名 11回以上 1名

質問2) 退院後訪問指導時の気づき・・・ 5カテゴリー

【生きる力】(18件)・・・

「入院時より生き生きしていた」

「入院中よりADLが向上していて驚いた」

「独居で生活面で心配な方が、元気に過ごしていた」

【実際の退院後生活】(14件)・・・

「退院先のイメージがしやすくなった」

「生活環境、家族、近所の協力状況を知り、独居、
老々介護でも生活できる可能性を知った」

結果 2

質問2)退院後訪問指導時の気づき… 5カテゴリー

【退院指導の評価】(6件)…

「摂食指導が浸透されていなかった」

「褥瘡評価をし、アドバイスできた」

「在宅での介護状況が想像と違っていた」

【困惑感】(6件)…

「退院前訪問指導もしていれば、もっと良い
アドバイスができたと思った」

「心配なことが聞けたか不安があった」

結果 3

質問2) 退院後訪問指導時の気づき… 5カテゴリー

【他職種との関わり】(5件)…

「認知症認定看護師と同行し、勉強になった」

「訪問看護師が指導の不備を補ってくれた」

「訪問ヘルパーの介護指導を見れて勉強になった」

質問3) 退院支援にどのように活かしているか

… 4カテゴリー

【個別性のある退院指導】(13件)

【患者・家族の意思決定支援】(4件)

【社会資源の活用】(4件)

【多職種連携による療養指導】(4件)

考察 1



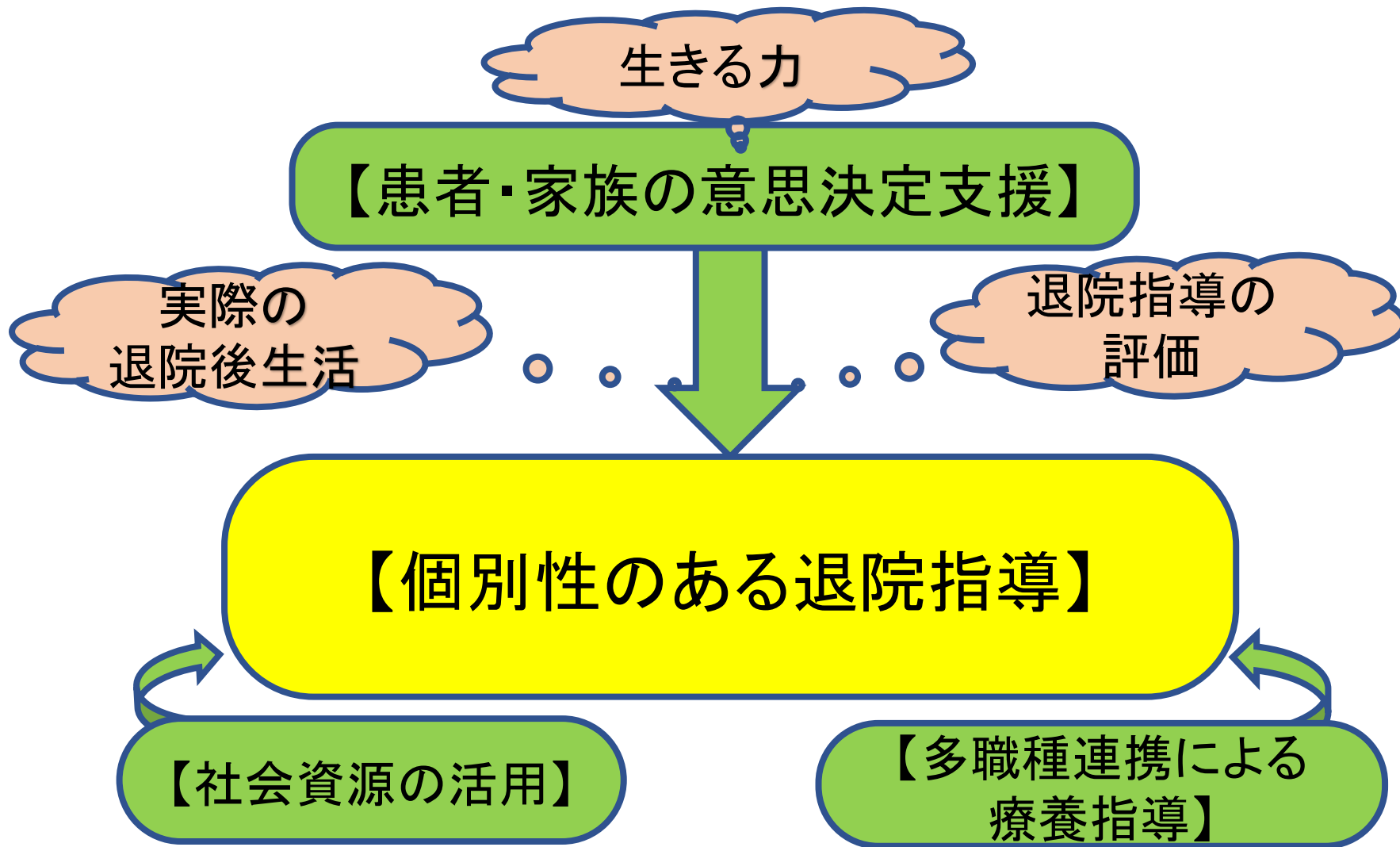
入院中の退院指導の評価

チームへフィードバック、共有

→個別で質の高い退院指導

考察 2

気づきをもたらした退院支援への関わり



結論

1. 退院後訪問指導を経験した看護師が得た気づきは、
【生きる力】 【実際の退院後生活】
【退院指導の評価】 【困惑感】 【他職種との関わり】
であった。
2. 退院後訪問指導での気づきが、
【個別性のある退院指導】
【患者・家族の意思決定支援】 【社会資源の活用】
【多職種連携による療養指導】として退院支援に
活かされていることが明らかになった。